



会員企業のみならず、例年以上に暑い中、お元気にされていますか？
大阪経済のみならず日本を引っ張るぐらい元気な会員企業がOGSには
存在しています。そんな元気な会社をOGSが指名し、自己紹介してもらおう
不定期企画です。第1回は **株式会社研美社** さんです！

沿革と事業転換の背景

こんにちは。株式会社研美社
です。このたびはご紹介の機会
をいただき、ありがとうございます
です。当社をご存じの方も、今
初めて知っていた方も、今
いらつしやるかと思いますが、
改めて当社のことをお伝えでき
ればと思います。

当社は大阪・都島区に本社を
構え（大阪城の近くにごさいま
す）、東京・八丁堀にも営業所
を持つ、プラスチックカード印
刷の専門会社です。2004年
にネット通販サイトを開設して
以来、社員証・会員証・診察券
など多様な用途のカードを、全
国の約12,000社のお客様
にお届けしてきました。

「強く・楽しく・美しく」と
いう経営理念のもと、「まかせ
てよかった。またお願いしたい」
と思っただけのようなサー
ビスを目指し、日々改善に努め
ています。



「会わずに伝わる印刷会社。WEBで全国とつながる研美社の仕組み」

当社では、お客様の課題に寄
り添う「提案型」の営業スタイ
ルを大切にしています。たとえ
ば「こんな仕様で作れるか分か
らない」「少量だけほしい」と
いったご相談にも丁寧に対応。

当社は1986年5月、印刷
機を持たない営業専門の印刷会
社として先代が設立しました。
創業当初は、名刺や年賀状など
を中心に展開していましたが、
競合との差別化が難しく、厳し
い時期が続いていました。
転機となったのは、現社長
（中田逸郎）が、プラスチック
カードに出会い、その可能性に
着目したことです。2004年
には業界に先駆けてカード販売
のECサイトを立ち上げ、対面
営業からインサイドセールス中
心のスタイルへと大きく舵を切
りました。価格や仕様を明示し
たWEBサイトを通じて全国の
お客様からご相談をいただき、
その声を基に提案やサービス改
善へとつなげていく。このサイ
クルが、今の研美社の営業スタ
イルの核となっています。

主力サービスのご紹介

すべての工程を自社で行って
いるわけではありませんが、協
力会社との連携を活かし、柔軟
な体制を整えています。
また、カードの用途や目的は
多岐にわたるため、当社では
「ひとつにまとめる」のではな
く、社員証・会員証・診察券な
ど目的別に複数の専門サイトを
展開しています。それぞれのサ
イトで必要な情報に最短距離で
アクセスできるようにすること
で、お客様にとっての「わかり
やすさ」と「選びやすさ」を追
求しています。

主力ブランドの一つが、社員
証専門の通販サイト「IDma
rt（アイディーマート）」です。
顔写真・氏名・ID番号などが
1枚ずつ異なる「可変印刷」に
も対応し、企業ごとのご要望に
合わせたオリジナルデザインの
提案が可能です。このノウハウ
は、診察券や会員証、イベント
パスなどにも応用されています。
また、印刷の枠にとらわれず、
オリジナルアプリの開発にも取
り組んでおり、情報の伝達や管
理をサポートするツールとして
提案の幅を広げています。20
21年には、スマートフォン



NFC機能
を活用し、
タッチ操作
だけで情報
を届ける
「near
by card
（ニアバ
イカード）」
の提供も開
始。名刺交換や営業活動の場で、
「+α」のコミュニケーション
ツールとして注目されています。

加えて、NFCチップを活用
したWEB誘導やデジタルカタ
ログとの連動など、カードを起
点とした新しい提案のご相談も
増えています。

製造現場と自動化への取り組み

お客様のご要望にこたえるため、
当社では品質向上と効率化を目
指し、いち早く自動化に取り組
んできました。現在は、カード
の搬送・反転・印刷などを担う
3台の協働ロボットが稼働中。
両面印刷やICエンコードにも
対応しています。

各ロボットには「てつお」「ミ
ミちゃん」「かわさきさん」と
いった愛称があり、製造部内で
は「今日、てつお
の調子いいね」と
いった会話が生ま
れることもあります。
こうした取り
組みは講演や製品
紹介の場でもご好
評の声もいただい
ています。



てつお



夜稼働するロボ

ユニークな社内制度と交流促進

社内の風通しの良さも、私た
ちの大切な財産です。当社では、
サントリー社が提供する「社長
のおごり自販機」という仕組み
を導入しています。専用カード
を2枚タッチすると飲み物が2
本出てくる仕様になっており、
「誰かと一緒に使う」ことを前
提に設計されています。この
ちよつとした仕掛けから自然な
会話が生まれ、部署を越えた交
流や社内の雰囲気づくりにもつ
ながっています。

おわりに

印刷の枠にとらわれず、常に
「今、必要とされる形」を考え
ながら、私たちはこれからも柔
軟に進化してゆきます。

「カードのことなら研美社」
と思っただけのように。そ
して当社の取り組みを通じて、
少しでも社風や雰囲気を感
じていただけましたら幸いです。ご
興味をお持ちいただけましたら、
ぜひ当社のウェブサイトもご覧
ください。最後までお読みいた
だき、ありがとうございます。



OGSとともに存続発展を描くビジョンとは

座談会 未来を語る 其の弐



前号からの続きとなります。行動指針として「原点回帰」「個々の社業発展」を掲げ、新たなスタートを切った平成会。OGSとともに組合員とWIN-WINで発展してゆく未来をどう紡ぐのか、議論は続きます。(OGS理事 田治宏敬 尼崎印刷株)

小幡理事長 平成会がOGSを引っ張ってくれ!

平成会で得られたものは

木原 さて視点を変えましょう。組合活動のメリットとして学びや懇親は当然ありますが、社業に活かせるというのがあると思います。自分自身が気付きを得てビジネスモデルを築けたという人もいるでしょう。イセ印刷はどうですか？

青木 やはりココのつながりができ、色んな情報が入るようになりまして。OGSに入ったのも、うちはココのつながりがありなくて、せいぜいメーカーさんとの付き合いだけだったのですね、業界のトレンドとか何が正しいのか分かりませんでした。例えば設備を一つ入れるにしても、この機械でいいのかとか、悪いところははないのかとか率直な意見を聞けるようになったのはよかったです。デジタル印刷機の更新の時も、平成会メンバーのアドバイスで適切な機種に入れ替えることができました。

木原 月岡さんはどうですか？組合活動が社業に寄与したということはありましたか？
月岡 ダイレクトに仕事のつながりというわけではないのですが、

が、業界の動き、いま何が流行っているのかとか聞いた上で、新しい設備を入れたりします。うちが「むっちゃヒマやな」と言っているのも忙しいという人もいます。何が忙しいのか何が動いているとか、調査じゃないですけどもいろいろな人の話を聞くことで分かっています。

木原 宇野会長、研美社の社業に対してはどうでしたか？
宇野 プラスティックカードがうちのメイン商材ですけども、競合する会社がほぼ皆無かと思っっています。このカード、カードサイズでしか商売をしていないのです。そういう意味で、僕たちの「顔」を売ればプラスチックカードなら研美社、と全国からたくさん注文をいただいたという実績があります。

木原 顧客が増えていそうだなと思っていました。ぜひジャグラー一網打尽してもらいたい(笑)
月岡 僕が平成会に入って旭紙工見学会をやったのですけれども、自分で段取りして、何を喋



ろうとか考えるのがとても勉強になりました。見学会をやるには、自分の会社のことをもっと知っておかないといけないし。どういう質問を返されて、それに答えなアカンということでも一度会社のことを見直して勉強しました。

田治 社業にとつてですと、売上の拡大、協力会社の開拓ということができました。機械設備のことも色んなアドバイスをいただきました。親会の話になりますが、ジャグラーコンバクトDXの委員会活動で得た知見を持ち帰ることができています。一方でお金では計り知れないものもあつたと思うのですよね。社長になると誰からも叱られるようになるってあるじゃないですか。時にはお客様でも遠慮していたりして。そんな中、ジャグラーのいいところは本当に親身になって叱ってくれることだと思えます。実際に木原さんや岡副理事長や佐藤専務理事から温かいお叱りをいただいたりね(笑)私は親に言われるまま学校の卒業後はすぐに自分の会社に入り、しかも長い間工場の中にいましたから本当に世間知らずの人間になってしまっていました。平成会に入って色々ご指導いただいて。嫌な「かわいがり」ではなく、「コイツが誤った道に入っているから、変な方向に行かないように直してやろう」という愛情が肌で感じられるんですよ。本当にありがたかったです。

組合員の社業発展のために

木原 例えばどんなアドバイスをもらって衝撃を受けましたか？
田治 いろいろありますね。社員のことを悪く言えば「そういうこと言っな」と叱られました。一方で売上に対する嗅覚とかそういうのも教えていただきました。あとまあ、社会人としての振るまい一つ取っても、「こういうことを言うな」というお叱りもありました。私も木原さんはいまだに言われ続けていますけれど(笑) そういう、先輩と後輩という健全な関係もいいところだなと思いますね。

木原 昔の平成会の行動指針は「仕事をする平成会」というのがありました。社業を進展させて自分も成長してゆこうという。毎月どこかの会社を訪問して、どこで気付いたことをその社長にぶつたりしていました。
宇野 平成会会員の見学、は予定を組んでいますよ。親会でもやられていたと思うので、我々も取り組んでいきます。
田治 平成会の企画に親会のみならずが押し掛けるぐらいがいいですよ。純粋に面白そうだから来ました、みたいな。
小幡 あらためて平成会のみならずのお話を聞いて僕自身理事長

始動平成会の結束力



昨年夏に行われた、2024DRUPA 報告会。DRUPA に行った平成会員の報告を踏まえ、その後討論会も行われた。



今年の総会後の懇親会。和気あいあいとした雰囲気です。

として顧みることも多いです。OGSも今は勢いのある人たちが理事を務めていることもあり安定していますが、やはり会の存続発展のために会員増強を果たさないといけない。そのためには付き合い方で入ってもらうだけでなく、今日の皆さんのように組合員が加入しているメリットを肌で感じる、そのような魅力を自ら創出する必要があるので、これまでどこか平成会は平成会で、OGSとは別個に

という流れがあつたと思います。しかしこれからはもっと平成会と志をともにして組合員の社業発展のために何ができるか知恵を絞らないといけない、そのような想いを抱いています。
木原 みなさん本日はありがとうございました。経営者として社外の人脈の構築と活用は重要な業務の一環と言えます。異業種のコミュニティのつながりももちろん重要ですが、同じ課題、

同じ悩みをもつ同じ業界同士の仲間のつながりから得られることがとても多いことも事実です。組合員の皆さまも、目の前の仕事が増えるかどうかという視点だけでなく他の目線からもOGSの活動をみていただき、各々の社業発展に役立つよう企画をご検討ください。そういったアクティブな組合員が増えれば自ずとOGSも平成会も存続発展することでしょう。

8月の活動予定

状況により中止・変更の可能性もあります

1	金		16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	
4	月		19	火	OGS 役員会 18時 JPビル 8階会議室
5	火	<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <h3>ジャグラ文化典 近畿・大阪大会</h3> <p> 総会・文化典・記念式典・懇親会等は20日(土) </p> <p>2026年 6月19日(金)~22日(月)</p> </div>	20	水	
6	水		21	木	
7	木		22	金	
8	金		23	土	高野山法要
9	土		24	日	
10	日	<div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px;"> <p>9月以降の予定</p> <p>9月3日(水) 印関協 本木祭 (四天王寺)</p> <p>10日(水) OGS 役員会</p> <p>26日(金) 平成会セミナー (決算書読解)</p> <p>2026年</p> <p>1月15日(木) OGS 新年互礼会 ウェスティンホテル大阪</p> </div>	25	月	
11	月		26	火	
12	火		27	水	
13	水		28	木	
14	木		29	金	近畿地協幹事会・セミナー (大阪担)
15	金		30	土	
			31	日	

役員会報告

日時：2025年7月15日(火) 18:00より
 場所：JPビル8階会議室(一部リモート参加)
 出席者：小幡理事長、岡副理事長、木原副理事長、
 佐藤専務理事、大家理事、田治理事、東條理事、
 中田理事、宗次理事、
 オブザーバー：平成会 宇野会長

報告事項 その他

【ジャグラ本部】

- ・東京大会報告
- ・著作権問題、神奈川県支部70周年記念式典について

【近畿地協】

- ・8月29日(金) 地協幹事会・セミナー(大阪担当)
 地域活性化委員会 斎藤氏による ジャグラコンパス
 利用セミナー(詳細は近日中に発信予定)

【OGS】

- ・恒例のビアパーティ → 今年度は開催中止
 (今回はANAクラウンプラザが貸切で使用できないため)

- ・秋のゴルフコンペは10月25日(土)(詳細は近日中に発信予定)
- ・今後の役員会日程について

【2026ジャグラ近畿・大阪大会】

- ・会場選定、来賓リスト その他について協議
- ・大阪大会キックオフ Zoom ミーティング
 7月22日(火) 16時より開催

【青年部】

スペース21

- ・9月5日 (株)正文舎(札幌)見学会
 6日 幹事交流サミット(同)
- ・10月25日(土) 土浦にて全国協議会

平成会

- ・7月19日 愛知県支部・愛青会とコラボ企画
- ・8月30日 和歌山でフィッシング&バーベキュー
- ・9月26日 決算書の読解セミナー開催予定

他団体との 連携の力を痛感!

JaGra 愛知親睦事業に参加して

平成会会長の宇野伸弥です。5月の会長就任から2ヶ月、2026年6月20日のジャグラ大阪大会に向けて多忙な日々を送っております。

先日7月19日(土)には、ジャグラ愛知県支部、愛青会との合同企画で、岡崎市の幸果園にてぶどう狩り&BBQを開催しました。約20組の家族が参加し、夏休みに入ったばかりということで多くの子どもたちが参加しており、元気にぶどうを頬張る姿に癒されました。



このイベントは大阪大会の告知も兼ねていましたが、他団体との連携は自分たちの発展に不可欠だと改めて感じました。愛青会の皆様の周到な準備と当日の運営には大変感銘を受けました。今後もこのような交流を深めてゆきたいです。
 (平成会会長 宇野伸弥 (株)研美社)